

活動報告③

施設見学会

業務委員長 上原 武

県立南部医療センター・こども医療センター

当協会では年間事業活動の一環として、平成18年2月16日（木）南風原町新川に建設された「県立南部医療センター・こども医療センター」の施設見学会を行いました。建築設備技術者協会九州支部沖縄会との共催で正会員、賛助会員合わせて40人が参加しました。

施設見学会は、沖縄県福祉保健部病院管理局の平良、濱川両監督官の案内で、2班に分かれてパンフレットを使いながら、施設概要を分かりやすく説明していただきました。

施設の規模はSRC造（免震構造）の地上6階建て、延床面積42,700㎡で、病床数は434床の大規模な病院でした。

病院の内装は、木質系の材料、心地良い色彩計画、患者さんにまぶしくならない柔らかな照明計画など、アメニティの高い癒しの空間になっている。

構造は地震等の災害時にも拠点施設として機能するように、免震構造が採用され安全性が確保されている。特に1階と3階の階高を高くしてISS（設備スペース）を設けるなどの工夫がなされていて、設備重視の施設となっている。

受変電設備は、台風時等と停電対策を入念に行い安全性が確保されている。総変圧器容量は12,400KVAで、コージェネレーション設備として、ディーゼル発電機800KW×2基が設置されている。

空調設備は、年間を通じて高温多湿な沖縄の気候に適した省エネルギー空調システムとして、デシカント空調（吸湿剤除湿空調）が採用されている。熱源機器は蒸気ボイラー6000kg×2基、蒸気吸水性冷凍機900USRT×1基、直燃式吸収式冷凍機900USRT×1基、電動チラー300USRT×1基が設置されている。

衛生設備は、雨水を有効利用し、上水の使用量を減らしている。受水槽は90t×1基、非常用備蓄水槽90t×3基が設置されている。





 一般社団法人 沖縄県設備設計事務所協会